

大阪維新の会はまるでトランプ！？ 都構想否決でも条例案提出に////

11/7(土) 5:15 配信 東スポ Web

定例会見を開いた吉村府知事

これじゃトランプ大統領と同じ？

大阪市の松井一郎市長（56）と府の吉村洋文知事（45）は、大阪都構想の住民投票での否決を受け、府・市の広域行政を一元化する条例案を提出する意向を示した。

【写真】吉村知事とジャニーズが共演

吉村氏は6日、大阪府庁で行われた定例会見で「都構想は否決になりました。大阪市民の皆さんの一番大きかった却下理由は『大阪市をなくすな』という不安だった。我々としても受け入れます。ただ、賛成派の皆さんもいた。ポイントにして1ポイント差、都構想を実現すべきだという人が約半数いた。二重行政を解消すべきという意見は強く、広域については一本化するというのが市民の皆さんの判断じゃないかと思う」と改めて主張。

条例案を来年の2月に議会に提案するとして「反対派の方がどう言うかは分かりませんが、僅差だったというのを尊重してもらい、賛成派の意も組んでももらいたい」と話した。

確かに住民投票で反対票を投じた市民でも、大阪維新の会の行政手腕を評価する声は多かった。

しかし、市政関係者は「『選挙こそ民意で健全な民主主義』と言っていた維新が『半分は賛成だった』と言い出すのはめっちゃダサい」と苦笑い。その上で「最大目標の市役所の解体には失敗しましたが、都構想の制度案の中身を条例で推進できるんだったら、住民投票をやる意味はあったのか。投票にかけた何十億円もの金を返せよ！と言いたい」と語った。

別の関係者も「反対派は『大阪市をなくすな』ということだけで反対して制度案の中身なんて何も考えてないでしょ？と言っているようにも取れる。市民をアホにしていますよ。結果が出て数日で別のことを言い出すなんて失礼だし、まるでトランプ大統領と一緒に。ネット上ではトランプのことを『アメリカ維新の会』なんて話題になってました」と指摘。

米国の大統領選挙でダダをこねまくるトランプ大統領の手法と重ねて批判する声が出ている。